「できる人が・で<mark>きるときに・できることを!!」の</mark>ボランティア活動です

熊本県南関町

活 動 名

南関町「学校応援団」

関係する学校

南関第一・第二・第三・第四小学校 南関中学校

	活動区分	※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状況)			
耳	土曜日の	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	教育活動				
	学校支援	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
基本デ	地域本部	6人	563人	19年度	有
データ		コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	放課後				
	子供教室	実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
	コミュニティ・	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	スクール				

平成19年度に南関町学校応援団を立ち上げた、子供たちを心豊かにたくましく育てるためには学校・家庭・地域社会が連携・協力しながら"地域の子供は地域で育てる"をモットーに、南関町では学校応援団事業を始めた。地域・PTAに協力を頂きそれぞれが「できるひとが・できるときに・できるだけ」を合言葉に学校に対してボランティア活動を進めてきた。 南関町では、南関町内に全ての学校(5ヵ所)にコーディネーターを配置し、学校との連絡調整を行っている。先生の依頼を待っているだけではなく、過去の支援例から活用例を紹介し、学校からの要望を引き出している。先生から直接交渉も出来る様にボランティア名簿を共有している。

今後は、既存のボランティア団体、NPO法人、社協等、組織の連携を今以上に深めていく必要がある。また、必要に応じて地域づくりの専門知識を持った指導者からアドバイスを受けるなどして運営していくノウハウを学び機会をつくっていきたい。

●特 徴

【特徴的な活動内容】

各学校にコーディネーターを配置し、学校と地域との連携を密に取っている。

ボランティア登録に関しても、様々な団体と連携し、社会福祉協議会のボランティア連絡協議会や介護予防事業のリーダー会などへ定期的に説明を行ったり会議に出席したりして協力をお願いしている。

また、スポーツに関しての分野では、南関町の総合型地域スポーツクラブNPO法人A-lifeなんかんの指導者に協力してもらいながら、水泳指導や習字指導にはプロの方に各学校を回って頂いている。広報活動では、平成26年度にウェブサイトを開設し、それぞれの活動の様子やお知らせなどをアップしている。より多くのみなさまに活動を知って頂こうと思っている。また、学校応援団の活動を広用紙にコーディネーターが作成し、保護者に活動を知ってもらう為に学校に掲示している。

【実施に当たっての工夫】

統括コーディネーターが教育委員会を配置するとともに、小学校4校と中学校1校にそれ ぞれコーディネーターも配置し連絡調整などについて月1回の定例会を開催している。

また、運営委員会を年3回開催しており、運営委員として学校、コーディネーター、PTA会長、ボランティア連絡協議会事務局、放課後子供教室コーディネーターなどが参画して、課題や今後の活動についての協議を重ねている。

学校とボランティアそれぞれに研修会を実施し、応援団の活動を知ってもらい活用してもらう努力をしている。具体的には、4小学校1中学校の実践記録を共有し、応援団活動に生かしたり、学校の取組の参考にしているところである。

年度当初には、先生方の異動がある為、全ての学校の先生方に説明会も実施している。 本年度は、南関町の教職員の初任者研修(地域理解研修)に学校応援団事業について説明を 行った。平成26年度についても、応援団の周知及び多様な活動について様々なアプローチ を試みている。



野菜づくりについての学習の風景

● 事業を実施して

学校の中ではボランティアが来校することが日常になり、地域の方にとっては子供たちとの触れ合いにより元気になる、もっと子供にいろいろな事を教えてあげたいなどと言ってもらえている。卒業してから何十年も経ちボランティアで集まった懐かしい仲間と同窓会みたいな気分になったという感想もいただき、地域の方達が気軽に学校に入り、子供たちを見守る体制が出来ている。子供たちも、地域の方々と活動をともにすることで、つながりができ、お互いに顔の見える関係づくりができてきた。



町探検(事業所等)の風景